

平成22年度 事業評価（事業活動記録）

事業No. 727

所管部局	教育委員会	所管課	社会教育課	担当者名	大西 敏之
事業名	講座開設事業			事業分類	ソフト事業
細事業名	講座開設事業			政策体系	131
会計	一般会計	科目	10.教育 - 5.社会 - 3.図書		

1. 事業の概要

生涯学習の大きな柱の一つである読書活動の推進に向け、お話し会・講演会・研修会・工作会など、様々な形態で実施する。

2. 事業の目的と必要性

①施策で目指す目標との関連付け

市民の生涯学習の振興及び「子どもの読書活動推進に関する法律」を鑑み、読活動の推進や、家庭の教育力向上に寄与することを目的に実施している。

②事業を実施する必要性

0歳から高齢者までを対象に、図書館法に定められた「国民の教育と文化の発展に寄与すること」を目的に、さまざまな切り口で読書活動の推進を図るための方策として必要不可欠なものとして実施している。

3. 事業費の推移

	単位	平18決算	平19決算	平20決算	平21決算	平22予算	平23計画	平24計画
決算額または計画額	千円	611	309	196	123	79	158	158
うち一般職・嘱託職・臨時職の給与および共済費等	千円	0	0	0	0	0	0	0
財源内訳	使用料・手数料等	千円	0	0	0	0	0	0
	国・府支出金	千円	0	0	0	0	0	0
	地方債	千円	0	0	0	0	0	0
	一般財源	千円	611	309	196	123	79	158
職員等の従事人員	人/年	—	—	1.21	4.35			
人件費	千円	—	—	5,361	9,436			
事業費総額	千円	—	—	5,557	9,559			

※事業費を要しない場合は「0」、事業を実施しない場合は「空白」で表示。
 ※千円未満を四捨五入し表示しているため、合計等が一致しない場合がある。

4. 主な事業費の内訳

講座講師謝礼	76,000円
講座消耗品	47,295円

5. 事業結果の概要

- ・ボランティア養成講座 4回実施
- ・「おはなし会」の実施(各館・室) 延べ約100回
- ・図書館職員の出前講座
- ・「お父さんたちのお話し会」の実施 (9/5)

6. 活動の詳細

活 動 内 容	活動日又は時期	活 動 結 果 等
(1) お話し会		
● 図書館でのお話し会事業 ・ちいさいこのおはなし会 ・お話と紙芝居の会 ・おひざでだっこのおはなし会 ・ボランティアによるお話し会	各館・室にて毎月開催または不定期に開催	
● 各種団体受入へのお話し会・保育所、幼稚園・小学生、中学生・放課後児童クラブ	不定期	
● 「お父さんのお話会」 講師：長谷川義史氏(絵本作家) 内容：絵本ライブ	9月4日実施	
(2) 講座		
● ボランティア養成講座 ・子どもと本 その魅力と意義(八木公民館) ・ブックトークの基礎(日吉町生涯学習センター) ・お話し会で使える小物づくり(美山文化ホール) ・参加者による合評会(文化博物館) 講師 仲野恵子 氏(福知山市みかんの木文庫主宰)	第1回 2月24日 第2回 3月3日 第3回 3月10日 第4回 3月17日	4回実施 参加者(延べ) 136名

7. 所属長評価〔平成20年度から改善した点、今後の展開など〕

参加者が、その成果を地域や家庭で役立てることにより、文化と教育力の向上につながるような図書講座の実施。
パソコンやゲームが氾濫する時代に、読書による想像の力醸成や、読み聞かせによる親子の絆を深めることなど「本のちから」を講座により市民に広めることができた。
読書に関わっていない世代や市民へのアプローチを検討する必要がある。

【参考】過年度の評価

■平成21年度の所属長評価

- ①有効性・効率性を向上させるため、担当職員と議論を重ねた点
参加者が、その成果を地域や家庭で役立てることにより、文化と教育力の向上につながるような図書講座の実施。
- ②当該事業のアピール事項
パソコンやゲームが氾濫する時代に、読書による想像の力醸成や、読み聞かせによる親子の絆を深めることなど「本のちから」を講座により市民に広める。
- ③反省点、今後の展開・方向性等
読書に関わっていない世代や市民へのアプローチを検討する必要がある。